

【理由の段落 三つの基本形】

「理由の段落」に書く内容が、あまりにも少ないと、文章の説得力が出ないばかりか、伝わり方も雑になります。ここでは、「理由の段落」の書き方の基本形を三つ紹介します。

アールズ謹製

① 「列挙」

「それに」や「また」などの接続表現を使って、内容を足す。

第一に、よい気分転換になるからです。家に帰ったら、勉強をしますが、勉強の合間にゲームをすると気分転換になってまたがんばれます。また、家にいる休日などにゲームをすれば、いやなことを忘れることができ、これも気分転換になると思います。

② 「解説」

具体例を出して、詳しく解説する。

第二に、よい気分転換になるからです。たとえば、勉強の合間にゲームをすると気分転換になってまたがんばれます。私は三十分勉強したら、五分ゲームをします。このときに、ゲームの時間が長引いて勉強のじゃまにならないよう、タイマーをセットしています。

③ 「対比」

「しかし」や「一方で」などの接続表現を使って、対比する。

第三に、よい気分転換になるからです。家で勉強するとき、ずっと勉強を続けていると、いやになるし、学習効率も落ちます。しかし、適度に休けいをはさみ、休けいのあるときにゲームをすればとてもよい気分転換になり、またがんばることがができます。